

Title	表紙ほか
Author(s)	
Citation	防虫科学 (1977), 42(2)
Issue Date	1977-05-28
URL	http://hdl.handle.net/2433/158969
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

防虫科学

季刊

第 42 卷—II

原 著

8. アルトシッド原体のラットにおける 6 カ月間慢性毒性試験
永野耕一・河野一弥・大塚恒夫・岡部政行・柴岡栄子・西野 広……63
9. *Bacillus thuringiensis* の血清学的分類に関する実験
石黒丈雄・三日月勝見・宮國稔・片桐謙……75
10. 抵抗性および感受性ツマグロヨコバイにおける cholinesterase 活性とその薬剤感受性
浜 弘司……82
11. TH-6038 と TH-6040 の類縁体の Fall Armyworm 生長に対する効果
R. E. REDFERN, A. B. DEMILO and J. E. OLIVER……89
12. アズキゾウムシ雌成虫に対する metepa, hempa の影響, とくにその病態組織学的観察
中山 勇……92
- 新刊紹介
……96

財団法人 防虫科学研究所

京 都 大 学 内

昭和 52 年 5 月

防 虫 科 学

編 集 委 員

主 幹 武 居 三 吉

藤 田 稔 夫 深 海 浩 井 上 雄 三 石 井 象 二 郎
中 島 稔 高 橋 史 樹 高 橋 正 三 内 田 俊 郎

投 稿 規 定

1. 防虫科学に関する研究論文、綜説ならば誰でも投稿できる。ただし原稿の取捨は編集委員会できめる。また原稿の字句については加除修正を行なうことがある。
 2. 論文は邦文または欧文とし、邦文には欧文の、欧文には邦文の要約を添える。表題、著者名および所属機関名などは邦文・欧文両者を併記する。
 3. 邦文原稿は原則としてA4判横書原稿用紙(400字詰)を用いる。欧文はタイプライター用紙にタイプライターでダブルスペースに打つ。邦文原稿の写真、表および図の説明は欧文とする。
 4. 邦文は平かな、新かな使いとし、欧語音読には片かなを用いる。ただし物質名、人名などは欧文のままとする。図は白紙または青線方眼紙にいていねいに墨書し、原稿とは別紙とする。
 5. 動植物の学名の下には_____を付ける(例: *Chilo suppressalis* イタリックとなる)。和名は片かなを用いる。数字はすべてアラビア数字を用い、数量の単位はメートル法による。単位および術語の略字は本既刊誌を参照されたい。
 6. 句読点、カッコは1画を与える。ハイフンは区画の野線の上に明瞭に書く。本文中の引用文献番号はカッコを付けて肩に小さく書く。文献は論文の最後に通し番号の順に列記し、著者名、雑誌名(書名)、巻、頁、年号の順に記し、巻数には_____を付ける(例: (1) Stevenson E. and G. R. Wyatt : *Arch. Biochem. Biophys.* 99, 65, 1966)。邦文雑誌名は日本化学総覧、欧文雑誌名は Chemical Abstracts, Biological Abstracts の規定の略名に従う。
 7. 校正は原則として初校に限り著者が行なう。
 8. 原稿の送付には送状を付し、発送年月日、連絡先、原稿枚数、写真および図・表数、別刷希望数などを記入する。原稿の郵送は書留とし、校正は速達とする。
- 投稿その他の編集に関する連絡は下記にされたい。

606 京都市左京区北白川 京都大学農学部
農業研究施設 石井象二郎 (075) 751-2111 内 6 3 0 5

「防虫科学」の終刊について

「防虫科学」は財団法人防虫科学研究所の事業の一つとして、昭和12年6月に第1号が刊行され、以来第2次大戦の戦局が苛烈であった昭和18, 19, 20年と、戦後の混乱期の昭和21年度を除き、昭和52年まで刊行を続けて参りました。此間害虫と殺虫剤との関係を取扱ったユニークな学術雑誌として、国内はもちろん国際的にも認められてきました。しかし戦後本誌が復刊された昭和22年から30年を経た今日、諸般の情勢は変り、本誌が取扱ってきた分野は他の諸学会誌で十分カバーできるようになり、本誌の果すべき役割は終わったと判断される段階に至りました。つきましては本誌は昭和52年度第42巻4号をもって終刊いたします。創刊以来刊行に御援助、御協力下さいました方々に厚く御礼申し上げます。

昭和52年6月

編集委員会

Announcement from the Editorial Board

The Editorial Board of *Botyu-Kagaku* has discussed extensively about the status and future of this publication. *Botyu-Kagaku* has had a successful history and has continued to provide unique descriptions of scientific insect control for more than 40 years since the first issue of the journal. However, availability of many recent journals has improved to a highly satisfying extent for both subscribers and contributors. Moreover, it has become difficult to continue the publication due to the recent financial situation. Although we still feel responsibility to continue the publication, we are compelled to discontinue the publication of *Botyu-Kagaku*. We hope you will understand the present circumstances.

The publication of *Botyu-Kagaku* is planned to be discontinued after Vol. 42, No. 4, dated November 30, 1977. We wish to express our gratitude to the subscribers, supporting members and contributors who devoted all kinds of effort for the publication.

June, 1977

The Editorial Board

賛 助 会 員

小 林 政 株 式 会 社
三 共 株 式 会 社
住友化学工業株式会社

大日本除虫菊株式会社
武田薬品工業株式会社

維 持 会 員

アース製薬株式会社
宇部興産株式会社
大阪化成株式会社
大塚製薬株式会社ソエコン課
科研化学株式会社
化研工業株式会社
花王石鹼株式会社
協和醗酵工業株式会社
キング化学株式会社
クミアイ化学工業株式会社
呉羽化学工業株式会社
サンケイ化学株式会社
塩野義製薬株式会社
大正製薬株式会社
高砂香料工業株式会社
株式会社立石春洋堂

トモノ農薬株式会社
長岡駆虫剤製造株式会社
長瀬産業株式会社
日産化学工業株式会社
日本化薬株式会社
日本曹達株式会社
日本特殊農薬製造株式会社
日本農薬株式会社
フマキラー株式会社
北興化学工業株式会社
三笠化学工業株式会社
三菱瓦斯化学株式会社
八洲化学工業株式会社
株式会社柳本製作所
山本農薬株式会社
ライオンかとり株式会社

(五十音順)

昭和52年5月25日印刷 昭和52年5月28日発行
防虫科学 第42巻—II 定価 ¥ 1000.
個人会員年2000円 団体会員年3500円 外国会員年U.S.\$10
編集者 深海 浩 石井象二郎
606 京都市左京区北白川 京都大学農学部

発行所 財団法人 防虫科学研究所
京都市左京区北白川 京都大学農学部内
(振替口座・京都5899)
印刷所 昭 和 印 刷
京都市下京区猪熊通七条下ル

“SCIENTIFIC PEST CONTROL”
BOTYU—KAGAKU

Bulletin of the Institute of Insect Control

Editor Sankichi TAKEI

Editorial Board

Toshio FUJITA, Hiroshi FUKAMI, Yuzo INOUE, Shoziro ISHII,
Minoru NAKAJIMA, Fumiki TAKAHASHI, Shozo TAKAHASHI, Syunro UTIDA

CONTENTS

Originals

8. Studies on Six Months on Chronic Toxicity of ALTOSID Technical in Rats.
Koichi NAGANO, Kazuya KAWANO, Tsuneo OTSUKA, Masayuki OKABE, Eiko
SHIBAOKA and Hiroshi NISHINO63
 9. Identification of Serological Method of *Bacillus thuringiensis*.
Takeo ISHIGURO, Katumi MIKAZUKI, Minoru MIYAZONO and Ken KATAGIRI.....75
 10. Cholinesterase Activity and Its Sensitivity to Inhibitors in Resistant and
Susceptible Strains of the Green Rice Leafhopper, *Nephotettix cincticeps*
Uhler.
Hiroshi HAMA.....82
 11. Analogues of TH-6038 and TH-6040. Growth Regulating Effects on the Fall
Armyworm
Robert E. REDFERN, Albert B. DEMILO and James E. OLIVER.....89
 12. Histopathological Observation of Chemosterilizing Effect of Metepa and Hempa
on Female Adults of the Azuki Bean Weevil, *Callosobruchus chinensis* L.
Isamu NAKAYAMA.....92
- Book Review96

Published by
THE INSTITUTE OF INSECT CONTROL
Kyoto University
Kyoto, Japan